

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2970800336		
法人名	社会福祉法人 明徳会		
事業所名	テンダーヒル御所わかば館 グループホーム きつとうど		
所在地	奈良県御所市364-1		
自己評価作成日	H25年2月6日	評価結果市町村受理日	平成25年3月22日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

身体機能には問題ないが、認知面で一人では行えなくなった生活行為を、職員の援助を受ける事で一つでも多く行えるよう、最大限支援しています。単なる人的ケアのみならず、環境面、ご利用者同士の相互援助も間接的にサポートし、ご利用者様自身に「まだまだ自分で出来るんだ」と実感し、自信を持って頂けるような援助を心掛けています。ご家族様にはこまめに報告・連絡・相談を行うよう心掛け、ご家族の負担にも配慮しながら、ご本人様を中心とした総合的に自立した生活を維持して頂けるよう援助に努めています。
看取りも含め、可能な限り住み慣れたグループホームでの生活を維持して頂く為に、予め退居要件を設定することなく、個々のご利用者様に合わせ、その都度、ご家族様と相談し対応を行っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

古い街並みと商店街に接し、利用者の慣れ親しんだ風景の中で、本人本位の自由な生活支援をしながら、地域との関わりも重視した運営等がこの事業所に活かされています。利用者はやさしい職員の見守りの中、残在機能を活かしながら一人ひとりの生活リズムで穏やかに日々を過ごされています。

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp/29/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	奈良県国民健康保険団体連合会		
所在地	奈良県橿原市大久保町302-1 奈良県市町村会館内		
訪問調査日	平成25年3月5日		

・サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当するものに印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

(セル内の改行は、(Alt+)- + (Enter+)-です。)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	(1)	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	きつとうど会議にて、行いたいケアを持ち寄り、方向性を確認した上で作成している。また、掲示板に掲示し、常に目に触れるよう配慮し、会議等で啓発も行っている。	利用者の自主性と人格を尊重し、地域との交流も重視した運営を理念に定め、会議で話し合う事によって、実践に活かす取り組みがなされています。	
2	(2)	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	通勤の際等、近隣の方への挨拶を心掛けています。ご利用者様の外出の際、地域の方と会話して頂けるよう配慮しています。農作物やお花を差し入れて下さいます。	自治会にも加入し、地域との関わりを大切にしたい運営がはかられています	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の高齢の方に当館に足を運んで頂き、運動教室や認知症予防教室を開催しています。市の集まりの場にて認知症についての講義を行い、理解と予防の啓発に取り組んでいます。		
4	(3)	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ご利用者様やご家族様に参加して頂き、色々な意見を頂いている。また、地域の方々からの意見も参考にし、次回までに改善を行う形でサービスの向上に活かしている。	幅広いメンバーで構成された運営推進会議があり、会議では利用者の状況や活動報告によって、質の確保・向上への意見交換がなされ、サービスの向上に活かす機会にされています。	
5	(4)	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	管理者が介護支援専門員も兼務しており、頻繁に市に足を運んでいるため、随時、情報交換を行っている。	様々な事項の相談や情報交換に定期的に行政窓口を訪問され連携強化に努められています。	
6	(5)	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	通所介護、訪問介護等の総合施設である為、夜間は玄関を施錠しているが、日中は開放しており、外出や面会を自由とし、身体拘束を行わない取り組みを行っている。	身体拘束による弊害を全ての職員が正しく理解されしっかりした見守りの中で支援されています。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	月に1度の会議で虐待防止に等について話し合う機会を設け、防止に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	認知症実践リーダー研修や認知症実践者研修を受講することで、権利擁護に関する制度の理解を行い、レポート等で事業所全体に周知出来る体制を取っている。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	ソーシャルワーカーを配置し、文章や口頭にて十分な説明を行い、不安や疑問に関して、いつでも相談していただける機会を設けている。		
10	(6)	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議にてご利用者様やご家族様から意見を伺う時間を設けており、管理者、職員、地域の方々が不満や苦情、悩み等を聞ける機会を設けている。	家族の訪問時や運営推進会議において意見要望等を聞き出し、聴取した意見等は、運営に反映される取り組みがなされています。	
11	(7)	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者と職員が運営に関するミーティングを行う時間を設けている。運営者とは法人全体の主任会議にて時間を設けている。	運営上の問題点等について、意見交換がなされ、検討・反映される仕組みがあり、それを実践されています。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	全職員が自己評価を行い、職員個々の一年の頑張りを把握し、賞与等に反映している。		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくを進めている	新人職員には一週間程度の研修を年に1度、設けています。GH着任後も勉強会等、学ぶ機会を設けています。施設外研修には色々な職員に参加の機会を設け、外部からの刺激を受けられるよう配慮しています。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	平成18年4月の開所以降、認知症介護実践者研修に参加し、学習のみでなく、他のGHとの情報交換等も行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居面接時、ご本人様だけでなくご家族様にも聞き取りを行っています。また、生活歴シートをお渡しし、ご本人様について記入して頂けるようお願いしています。		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居面接時、ご家族様とじっくりお話をすることで、細かい困り事や意向を伺うようにしている。面接前でも気軽に相談して頂けるよう、声掛けを行っている。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居面接時、入居後、落ち着いて過ごして頂くにはどのようにすれば良いか等、ご本人様、ご家族様と一緒に考え、検討していけるようにしている。		
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご自分で出来ることは出来る範囲で行って頂くよう声掛けを行っています。出来ない所は一緒に行って頂いている。調理方法等、ご利用者様から教えて頂く事もあります。		
19		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	入居面接時にご家族との関係、生活について伺える範囲で話しを伺い、GHでの生活の参考にさせて頂いている。また、生活歴シートの記入をお願いし、参考にしている。		
20	(8)	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	地域の方に入居して頂くことで、病院や美容室、買い物場所等、馴染みの場所への外出を継続することが出来ています。	馴染みの人、場所との関係の維持は極めて大切との思いがあり、買物、美容室の同行等の支援に努められています。	
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	可能な限り入居までのご本人様の性格や人との関わり等を伺い関係作りの援助を行っています。時間が経つにつれ、ご本人から関係を築いて頂けるよう、支援してまいります。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居時にお渡しするアルバム等で、GHでの生活を振り返って頂ける機会が設けられる様、配慮している。また、特養等に転居された場合は必要に応じ、支援や相談に努めている。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入浴・食事、買い物、散歩等の生活面に関して、個々の意向を伺い実現出来るように配慮を行っている。	暮らしの中での言動を詳細に把握、記録され、サービスに活かす取り組みがなされています。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族様に生活歴シートを記入して頂くことや、ご本人様との会話で得られたこれまでの生活に関わる内容は日誌に記録している。また、ご家族様の面会時に伺う様に努めている。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日常の様子を日誌に記録し、カーデックスへの記入も行う事で状態の変化を把握しています。申し送りでは1日の様子が切れずに引き継がれるようにしている。		
26	(10)	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	カンファレンスを行いながら、個々の今後のケアについて検討している。都度、職員間で、必要な際はご本人様、ご家族様とも話し合いながら方向性について検討しています。	介護計画の作成と適切な支援のためにカンファレンスの必要性を正しく理解され、関係者で意見交換等がなされています。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	気づきや工夫を記録し、日誌やご利用者ファイルに活用している。会議にて見直しを行っている。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	介護保険内のサービスにとどまらず、希望があれば真摯に検討し、柔軟に対応出来るよう、心掛けている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の資源を活用し、ご利用者様の楽しみを見つけ出せるよう幅広く取り組めるよう意識している。		
30	(11)	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	基本的には入居前のかかりつけ医から変更せず、意向に添った形での病院選びを行っています。	受診は本人の希望を優先した支援が図られています。	
31		看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師を配置し、日々、健康管理を行って頂いている。法人の看護職と協力体制も整えている。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	法人で協力病院と入院先を確保し、医療相談員と協同で情報交換、相談を行い、早期に退院して頂けるよう努めている。		
33	(12)	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	日頃からかかりつけ医やご家族様と密に情報交換を行っている。予め、「出来ないこと」と想定することなく、かかりつけ医、ご家族様と相談しながら出来ることを可能な限り検討していき、支援している。	終末期への明確な対応方針があり、入居時の説明と状況に応じて、関係者がその都度協議するようにされています。尚、職員への周知、徹底が図られています。	
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	AEDを導入し、使用方法の勉強会をしています。また、緊急時の対応についても勉強会を開いています。		
35	(13)	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回、消防署に来て頂き、ご利用者様参加型の避難訓練を実施。管理者が自治会に参加し、自力避難が困難な方が入居されている事、職員だけでは避難が難しい事をご理解頂けるようお話させて頂いています。	消防署の指導の下、定期的に消火・避難訓練が実施されます。地域住民に働きかける事によって、参加の広がりが見られます。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個々の尊厳を尊重し、介助の度に声掛けを行うよう配慮している。 個人情報規定に則り対応を行っている。	一人ひとりの人格を尊重した言葉かけや、語調に配慮した対応がなされています。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	生活動作を一緒に行いながらの自然な会話やその方に合ったコミュニケーションから希望や意向など、ご本人様の意志を聞き取る努力を行っている。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご本人様の希望に応じて食事の時間を遅くするなど対応している。その日の体調や気分に応じ、安息時間を設けたり、散歩や買い物に出掛けたりと個人の希望に添えるよう対応している。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	馴染みの美容院や理髪店を予約しご利用頂いている。適宜、訪問利用も来て下さっている。衣類等の日用品も個々にあった物を購入して頂けるよう配慮している。		
40	(15)	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ご利用者様のリクエストメニューを取り入れてます。出来る方に調理のお手伝いをして頂いてます。味付けはご利用者様のお口に合うように工夫されています。片付けは出来るだけご自身で行って頂いています。	食事の準備や、後片付けに協働され、楽しい雰囲気作りに取り組まれています。また嗜好調査も実施され献立に反映させる取り組みも見られます。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	定時に水分提供を行っている。食事はご本人の意向を把握しながら必要な支援を行っている。栄養バランスについては管理栄養士が、献立の作成や栄養相談も行って下さっている。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食時や必要性に応じて個々に対応している。義歯は毎晩、外して頂き、洗浄を行い、破損等ないかの確認も行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個々に合わせた誘導の声掛けやパット類の選定を心掛けている。出来る限り、オムツやパットに頼ることがないように、自立を促している。	排泄パターンのチェック 記録と行動観察により、トイレ誘導がなされ、自立排泄への支援がなされています。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日、排便確認を行う事で、必要に応じて水分補給や下剤を使用しながらコントロールしています。バナナやヨーグルト等、便通を良くする飲食物での工夫も行い、排便を促す努力をしています。		
45	(17)	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	希望された時間や頻度で対応を行っている。デイサービスの浴室をお借りして環境を変えるなど、入浴の嫌いな方には工夫を行っています。	本人の希望を優先した支援が図られています。入浴の嫌な方はデイサービスの浴室で入浴していただくなどの取り組みがなされています。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼夜逆転や不眠、浅眠がみられる方には、日中の出来事や過ごし方を把握し、日中は活動して頂き、夜間、睡眠がとれるよう生活リズムを改善して頂けるよう努力している。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	かかりつけ医と連携し、必要に応じて薬の説明や作用、注意点等の指示を受けています。服薬板に職員が分かりやすいように記載し、周知している。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	なるべく全員で決まって何かをするという事は行わないようにし、カラオケや書道など、個々の得意とされることや好みに力を入れて援助している。		
49	(18)	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	散歩や買い物は、随時対応を行っている。また、気候の良い時は個々の希望を伺いながら外食や散策などの機会を設けるよう取り組んでいます。	外気に触れることの効果を理解され、周辺の散歩や外出の機会の確保に努められています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	週1回の買い物の際に、行っている。 ご本人様の能力に応じたお小遣いは自己管理して頂いている。		
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話の取り次ぎ制限はなく、ご利用者様もご希望があれば使用して頂ける環境にある。 正月には年賀状を書いて頂いている。ご家族様や知人様への郵便物の投函も代行している。		
52	(19)	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関やベランダで草木や草花を育てています。ご家族様から頂いたお花を飾らせて頂くこともあります。家具等は一般家庭用を使用し、生活感を出せるよう配慮しています。	清掃の行き届いた共用空間は清潔感があり、外気の取り入れや採光への工夫等により、落ち着いて過ごせる場所となっています。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングにて食卓やソファで思い思いに寛いで頂けるような環境作りを心掛けています。廊下に配置したソファや和室を利用し、落ち着く場所を作って頂けるよう配慮しています。		
54	(20)	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	わざわざ新調して頂かず、ベッドなど、出来る限り自宅から馴染みの家具を持参して頂くようお願いしている。刃物等の取り扱いが危険な物以外は出来るだけ持ち込みを拒まないようにしている。	使い慣れた家具や好みの品々が持ちこまれ、安心して過ごせる居室となっています。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	各トイレや浴室には手摺りを設置し、車椅子対応のトイレも設置しバリアフリーに配慮している。個々に自作の表札を作り掛けている。壁紙は部屋別に変えています。		